

# 広報 しばた

## 元気にのびのびと成長することを願って

子どもたちの健やかな成長を願い揚げられる「こいのぼり」。  
その下では、子どもたちがかけっこをしたり、  
ダンスをしたり、元気に遊んでいます。  
青空の中を優雅に泳ぐ「こいのぼり」は、  
少しずつ成長していく子どもたちを温かく見守っているようでした。  
〔写真：4月16日（木）槻木保育所〕



# 防災マップ を活用して 災害に備える

問 総務課 TEL55-2111

## 新しい防災マップ

皆さんは、2月上旬に全戸配布しました「柴田町防災マップ（ハザードマップ）」をご覧になったでしょうか。

今回、防災マップを新たに作成した背景には、国による防災・減災への3つの大きな動きが挙げられます。一つめが、平成25年8月から、「特別警報」の運用が開始されたことです。昨年の台風19号の際にも、柴田町に大雨の特別警報が発表されました。「特別警報」は、「警報」の発表基準をはるかに超えるような数十年に一度の大規模な災害の発生が予想される場合に発表され、対象地域の住民の方々に対して最大限の警戒を呼びかけるものです。

二つめが、近年の多発する浸水被害への対応を図るため、平成27年に水防法が改正されたことです。これにより、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を示す「洪水浸水想定区域」が、50～150年に1度の大雨から、想定し得る最大規模（1000年に1度）の降雨を前提とした区域へ拡充されることになりました。

三つめが、平成30年7月豪雨を踏まえ、「避難勧告等に関するガイドライン」が改定されたことです。災害時に、住民のとるべき行動がより分かりやすくなるよう、5段階の警戒レベルで表しています。

また、町でも平成27年から、浸水被害の軽減を図るため、町民の方がいつでも土のうを持ち出せるように「土のうステーション」を設置するなどの取り組みを行っています。

このような防災・減災への新たな動き、取り組みを反映させたものが、今回作成した新しい防災マップになります。

防災マップは、大切に保管しておくのではなく、日ごろから目に付きやすく、手に取りやすい場所に置いてください。そして、ご自分の住んでいる地域の避難場所や浸水区域の確認などにご活用ください。

新しい防災マップの配布をきっかけに、これから訪れる梅雨や台風の時期の前に、ご家庭や地域で、防災について話し合い、考えてみましょう。



防災についての大切な情報がたくさん掲載されています。

# いざという時の準備は できていますか

台風や地震のような災害に備えるためには、日ごろから準備をしておくことが大切です。

まずは、非常時の持出品や備蓄品を準備しましょう。持出品は、両手が空き、避難するときに身動きがとりやすいなどの点から、リュックサックに入れておくことをお勧めします。備蓄品は、それぞれの家庭に合わせ、一週間程度の生活ができるような量を用意しておく目安です。

なお、持出品や備蓄品は、使用するときには支障のないよう、使用期限や賞味期限などを定期的に点検することを忘れないようにしましょう。

防災マップには、非常時の持出品や備蓄品のリストのほか、家の中の安全対策


や家具の転倒、落下を防ぐポイントなども掲載してありますので、参考にしてください。

また、災害時には、停電などで通常の情報収集手段が利用できなくなる可能性がありますので、携帯ラジオなどを用意しておくことも重要です。

災害が発生すると、町による対応だけでは限界があります。被害を少しでも減らすためには、住民の皆さんによる災害への備えが必須になります。

自らを災害から守る「自助」の意識を持ち、防災・減災に取り組んでいきましょう。

## 主な災害情報・避難情報の入手先

- 柴田町メール配信サービス  
災害・防災情報などをメールでお知らせします。二次元コードを読み取るか、町ホームページから登録できます。  
  
<https://www.town.shibata.miyagi.jp/mail/index.html>
- 柴田町ホームページ
- 気象庁ホームページ
- テレビ(ニュース、データ放送)
- ラジオ
- 緊急速報(エリア)メール

## 主な非常時用の備蓄品

- 飲料水  
(1人1日3リットルを目安に)
- お米
- 缶詰、レトルト食品
- 梅干し、調味料など
- 菓子類
- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料
- 生活用水  
(風呂、洗濯機などに貯水)
- 毛布、寝袋、洗面用具など
- 調理器具(なべ、やかんなど)

## 主な非常時の持出品

- 携帯ラジオ
- 電池(多めに用意)
- 救急医療品  
(常備薬、絆創膏など)
- 貴重品(現金、預金通帳など)
- 懐中電灯(できれば1人に1つ)
- 非常食品  
(缶詰、レトルト食品、菓子類など)
- 飲料水
- タオル、衣類(下着、上着など)
- ライター
- ヘルメット
- 防災マップ



第12B区防災訓練

令和元年10月の台風19号をはじめ、近年の台風などによる集中豪雨や大地震などの大規模災害が全国各地で発生し、そのたびに多くの犠牲と社会的混乱が生じています。

当地区では、過去にも大きな水害が何度か発生しています。今回、全世帯に配布された防災マップを活用し、住民が日ごろから「安心・安全」に暮らすことができるように、平時の備えが肝要と捉え、防災・減災の心構えを住民一丸となって徹底していきたいと思っています。



第12B区行政区  
阿部 道 区長

住民一丸となって  
防災・減災に取り組む

# 一人一人が命を守る行動を

## 「マイ・タイムラインを作ってみよう」

タイムラインとは、台風などの大雨により河川の水位が上昇するときに、標準的な防災行動を時系列的に整理しておくことで「逃げ遅れゼロ」を目指すものです。

災害発生を想定し、防災行動をあらかじめ定めておくので、タイムライン策定により、関係機関の役割が明確化されることや、先を見越した早め早めの行動ができるため、対応の遅れによる被害拡大を回避できることなどの効果が期待されます。

町でも「柴田町タイムライン（防災行動計画）」を策定し、防災マップの中で紹介しています。

河川の氾濫発生時を起点として、そこから時間をさかのぼり、予想される気象情報などから、町が発信す

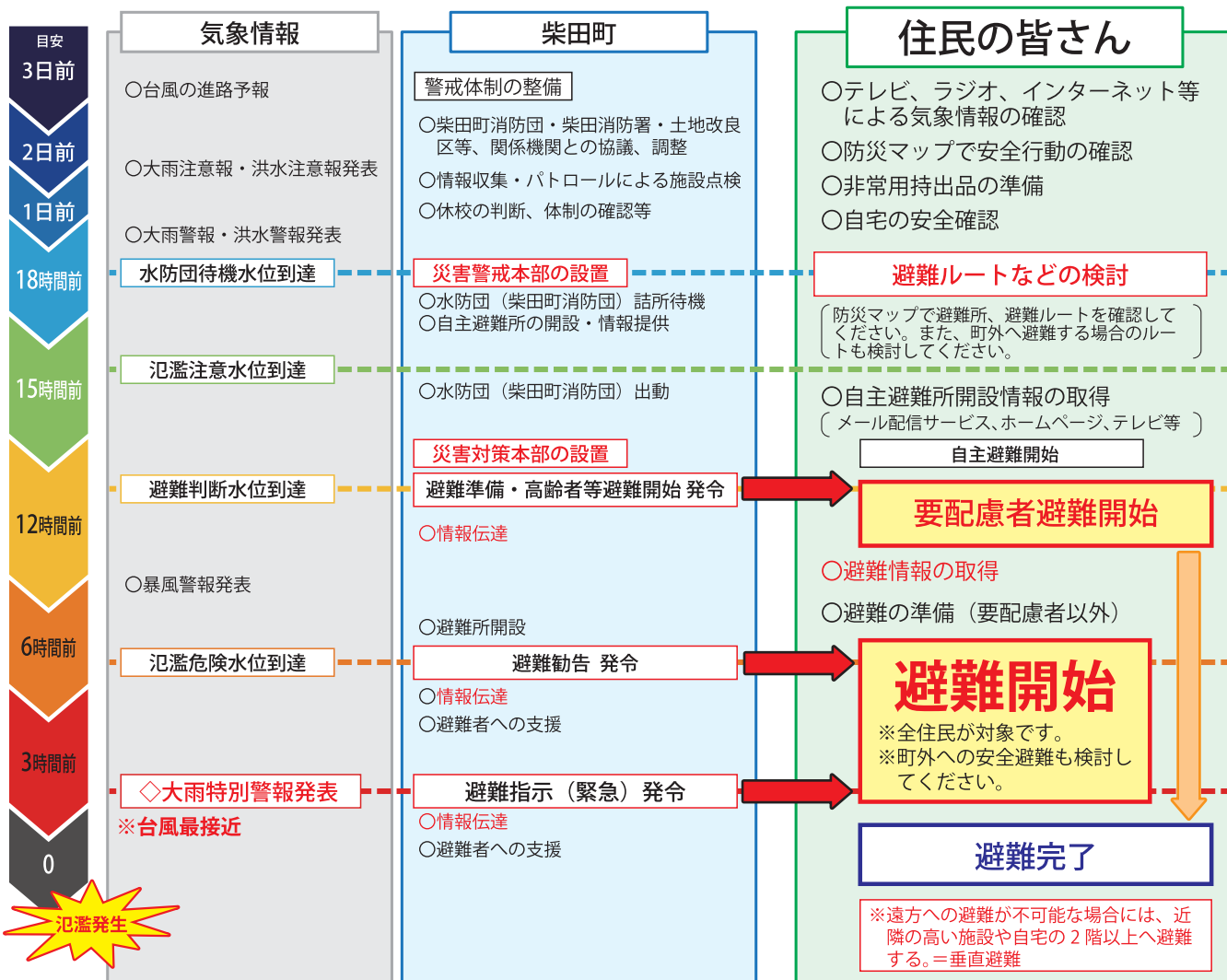
べき情報や取るべき対策、住民の皆さんの行動などをまとめています。

また、住んでいる場所や周辺の地形、家族構成、年齢、生活環境などから、自身の状況に合わせて作るタイムラインのことを「マイ・タイムライン」といいます。「いつ」、「誰が」、「何をするのか」があらかじめ時系列で整理されることになるので、慌てず、安全に避難行動をとることができます。

「柴田町タイムライン」を参考に、災害時に自分や家族がどう行動すればいいのかを考え、話し合い「マイ・タイムライン」を作ってみましょう。

そして、いざという時に命を守る行動がとれるようにしましょう。

### 柴田町タイムライン（防災行動計画）



※詳しくは、配布しました防災マップでご確認ください。

## マイ・タイムライン 作成のポイント

- ① ハザードマップを確認
  - ・自宅周辺の想定される浸水深ほどの程度なのか。
  - ・土砂災害の警戒区域などに指定されているのか。
  - （立ち退き避難が必要かなど）
- ② 地区防災マップ（計画）の有無を確認
  - ・地区防災マップ（計画）が作成されていれば、その内容を確認する。
- ③ 避難場所などの確認
  - ・避難場所などはどこなのか。
  - ・避難方法をどうするか。（徒歩、自転車など）
  - ・避難に要する時間はどれくらいか。
- ④ 避難開始のタイミング
  - ・どの時点で避難するか。
  - ・自主防災組織との連携はどうなっているか。
- ⑤ 避難情報の収集手段の確認

- ・テレビのニュース、データ放送から情報収集。
- ・町の配信メール、緊急速報（エリア）メールによる情報収集。

### ⑥ 避難への備え

- ・非常用品（持病薬）や非常用持出袋を確認する。
- ・携帯電話を早めに充電する。
- ・軒先の植木などを片付ける。
- ・避難すること、避難先を家族に連絡する。
- ・火の元、戸締りを確認する。

## マイ・タイムラインの見直し

マイ・タイムラインは、一度作成したら、それを使い続けるというものではありません。家族や周囲の状況に変更が生じれば、それに応じて内容を確認し、必要な行動を整理するなどの見直しを行う必要があります。

## ある家族のマイ・タイムライン（例）

- 防災マップで避難所を家族で再確認する
- 天気予報で台風の強さや進路、雨の量などの情報を確認する
- 防災グッズを準備、確認する
- 家族の予定を確認する
- 自宅の安全を確認する（風で飛びそうなものがないか、2階へ必需品や貴重品を移動する）
- 防災マップで自宅周辺の想定される浸水被害を確認する
- 携帯電話を充電する
- おじいちゃん、おばあちゃんは安全な親戚の家に避難する
- 町からの災害情報、避難情報を確認する
- 戸締り、火の元を確認し、防災グッズを持って、残りの家族みんなで避難する
- 避難して、みんなが無事であることを親戚に伝える
- 町からの災害情報を確認する
- 避難所で台風の通過を待つ

## 気象情報・避難情報

- 台風の進路予報
- 大雨注意報・洪水注意報発表
- 大雨警報・洪水警報発表
- 避難準備・高齢者等避難開始発令
- 避難所開設
- 暴風警報発表
- 避難勧告発令
- 大雨特別警報発表
- 避難指示（緊急）発令

氾濫発生

### 注意事項

マイ・タイムラインを作成すると、自分や家族の行動のタイミングが明確になります。しかし、洪水は、自然現象であるため、想定したとおりに進行していくとは限りません。その都度、台風の動きや降雨、河川の状況などを考慮して行動する必要があります。気象警報や避難情報などをこまめに収集・確認し、その情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、臨機応変に行動するようにしましょう。

## 住民懇談会での 主な質問を ご紹介します

2月15日(土)、16日(日)の2日間、町内3カ所での「台風19号等の被害及び防災マップ説明に係る地区懇談会」を開催し、合わせて288人の方々に参加いただきました。

多くの質問や意見がありましたので、その中から一部をご紹介します。

### 台風19号の対応について

**問**古河水門を開けていたために白石川から逆流し、東船迫や若葉町、新生町に水が上がったのではないかと、バイパスに泥が上がった理由を説明できるのか。古河水門を開けていたのが被害を大きくしたと思っ

**答**現地で排水作業をしていた10月12日(土)、午後9時

30分ごろの時点では、白石川より内水の水位が高く、白石川に排水されていましたが、その後、午後10時過ぎに水没の危険が迫り排水作業を中止し、退避しました。過去の大雨では、内水より白石川の水位が高かったのですが、今回の短時間で豪雨は、これまでと違っており、当時は逆流していませんでした。退避した後

の水位の動向は不明ですが、さまざまな状況からすれば逆流は少ないものと判断しています。

また、支流の水が本流との合流地点で行き場を失い逆流し、堤防決壊につながる、バックウオーター現象は、阿武隈川と白石川では確認されませんでした。

**問**避難所では、自主防災組織に運営の時間を与えてもらう機会がなかった。

**答**自主防災組織に、避難所運営をお任せできる体制を

作ることができれば一番良いのですが、各自自主防災組織にはそれぞれの考え方があります。

今後の課題として、みんなで運営する方策を考えていきます。

**問**柴田高校や仙台大学などを避難所として開設しなかったのはなぜか。災害経験が活かされていない。

**答**柴田高校や仙台大学の避難所は、避難者が他の避難所に収容しきれない場合に開設するものです。避難所は、まず優先避難所を開設し、その次に小中学校などの避難所を開設します。今回の反省事項としては、小中学校などの避難所開設が遅れたことです。

今後は早期に開設するように対応していきます。

### 今後の災害対策について

**問**町長は、白石川への排水ポンプ場の設置を国、県にお願いしているというが、今回のような水害は今後もあり得るので、設置がいつ頃になるのか、ぜひ伺いたい。

**答**これまで四日市場、三名生堀、船岡五間堀排水機場が、農水省などへの働きかけでできたように、新たな排水機場の設置については、すでに国や県に要望や陳情を行っています。排水機場の設置については、最優先陳情項目として活動を行っています。

また、阿武隈川の槻木側の堤防の補強はすでに完成しています。現在は、阿武隈川と白石川の合流点から角田市の小坂までの堤防工事が進められているところです。

西住地区では、7年前から大河原町と共同で冠水対

策を進めています。さらに、町では移動式の大型排水ポンプ車1台を購入します。

**問**自主防災組織を昨年9月に発足したばかりで、かなり弱い組織となっている。メンバーは19人いるが、その中に防災士の方もいる。強固な自主防災組織を作りたいので町でも支援してほしい。

**答**今回の台風19号では、地域で顔の見える関係を作っていない限り、住民一人一人への情報の伝達はなかなか難しいと感じました。その対策の一つとして、防災士、防災指導員の資格を持つている方々を増やすという方法もあります。

区長さんと防災士、防災指導員の連携を強化するには時間がかかりますので、今日を出発点にして、地域ごとの考えを把握しながら、人材育成、組織活動に対する支援について、町も取り

組んでいかなければならぬ  
いと考えています。

**問**令和2年度の予算案で示された事業内容で、ハザードマップで想定されている浸水深がどの程度良くなるのか。

また、人的被害は少なかつたが、建物被害が大きかつたので、ハード面にお金をかけたほうが良いと思うかどうか。

らの雨の降り方となつていますので、国はまずは逃げるといった「人命救助」を優先しています。

**問**避難所が開設しているかどうかの情報について、避難する際に知る方法はあるのか。エリアメールが届くか。エリアメールには届かなかつた。避難所を開設しているという情報は、避難する際に何で得られるのか。

防災士、防災指導員などで構成する「柴田町災害対応連絡会議」を立ち上げました。これまで2回開催し、今後、

本部長(町長)から、各組織系統に情報を伝達することで、町民に情報提供ができるよう合意を得ました。これを「声掛けネットワーク」と呼ぶことにしています。今後、いろいろなチャネルを通じて、情報を提供しようと思つています。

### 防災マップ(ハザードマップ)について

**問**洪水ハザードマップを見て、槻木地区の浸水状況は分かつたが、どうしたらよいのか悩んでいる。

そして、避難所一覧を見ると、槻木地区では水害の際の避難所を開設しないよ  
うだが、今後どうしたらよいのか。水害時に槻木生涯学習センターなどへ避難してよいという説明はされた

ものの、実際に水害が発生した場合はどうすればよいのか。

**答**今回の洪水ハザードマップは、阿武隈川については、国土交通省、白石川については、宮城県で作成したものです。

水害の際の避難所としては、1階部分は適していません。そのため、槻木生涯学習センターや槻木小学校も1階は浸水の恐れがありますので、避難所が絶対安全とは言えません。

高齢者や障がい者の方は、移動が大変で避難する場所が無くなるので、いったん優先避難所に避難していただき、状況により2階以上に垂直避難をしてもらうことになりま

す。洪水ハザードマップは、このエリアが絶対安全ということを示しているものではないかもしれません。これを参考に、自らの避難行動によって身の安全を確保してもら

うためのもので、安全を保障しているものではありません。

**問**今回の台風19号を踏まえた柴田町の内水被害の最新版ハザードマップは、いつ頃作成されるのか。

**答**内水ハザードマップの想定は行つていません。今後、状況を見て作成することとなりますが、それまでは防災マップにあります「令和元年台風19号に伴う大雨による浸水推定段彩図」を参考にしていきたいと思つています。

また、「水防災意識向上マニュアル」をみんなで作成し、水門や水路などの情報を共有して、今後に備えたいと思つているところです。皆さんからの過去の水害の体験などについても、伝承していきたいと考えています。

※抜粋して掲載しています。

《皆さんの大切な「声」を聞かせてください》

## 町長へのメッセージについて お答えします

町民の皆さんから、より良いまちづくりのためのご意見、ご提案として、昨年度は132件の「町長へのメッセージ」をいただきました。その中から一部を紹介いたします。

問 まちづくり政策課 Tel 54 2111

船岡城址公園や太陽の村への遊具の設置について

子どもが楽しく遊べる遊具を船岡城址公園や太陽の村に作ってください。今の遊具は、古かったり規模が小さいと思います。

ご提案の船岡城址公園につきましては、「美しい花々を歩いて楽しむ公園」をコンセプトに、全国からの観光客の誘致を図ることとしています。一方、太陽の村は、子どもたちが元気に遊ぶことができ、冒険遊び場として整備する



キッズバイクパークの整備が進められている太陽の村

など、それぞれの公園の特性を生かしてまいりたいと考えております。

今後も太陽の村に子どもたちの遊具を充実させていきますので、ぜひ、遊びに来ていただければ幸いです。

デマンドタクシー「はなみちゃんGO」の町外への運行について

町内の病院に通院する際にデマンドタクシーを利用していただきます。しかし、みやぎ県南中核病院で受診することもあるため、みやぎ県南中核病院まで運行してもらえないでしょうか。

デマンド型乗合タクシー「はなみちゃんGO」は、町内のタクシース会社のご理解とご協力の下、平成24年8月から運行しています。ご提案のみやぎ県南中核病院までのデマンド型乗合タクシースの運行には次のような課題があります。

町内のタクシース会社の車両を使用することで安い料金で利用できる一方で、同じタクシース会社の通常タクシースと競合します。みやぎ県南中核病院への運行については、タクシース会社の経営に与える影響が、より大きくなります。仮にタクシース会社からの車両提供が無くなった場合は、「はなみちゃんGO」そのものの

運行ができなくなってしまうます。

また、大河原町への乗り入れには、新たな営業許可申請が必要となります。この許可申請には、町内のタクシース会社との合意と、乗り入れ先の大河原町および大河原町内のタクシース会社との合意が必要とされているため、本町のみでは決定することができません。

これらの課題を解決するために、タクシース会社と協議していますが、現時点で町外への運行は難しい状況にあり、ますことをご理解いただきたいと思います。



令和元年度は延べ17,257人もの方に利用いただいた「はなみちゃんGO」

道の駅の設置について

町の活性化のためにも、全国にある「道の駅」が柴田町にも必要ではないでしょうか。

近隣では、七ヶ宿町と村田町に「道の駅」があります。昨年は、角田市にもオープンしました。また、白石市や名取市、山元町にも、地域の魅力を生かした同様の施設があります。

国に登録されている道の駅は全国に約1,170カ所あります。

しかし、近年は、近隣各地への「道の駅」の乱立や、民間のスーパードによる地場産野菜を中心とした地域特産品販売などにより、地域での売り上げ競争が激しいため、全国にある「道の駅」の3割が赤字経営になっているとも言われ、多額の税金を投入し、維持されている現状もあります。柴田町では、「柴田町観光物産交流館さくらの里」を町の観光と人々との交流拠点として最大限に活用し、更に



磨きをかけながら、桜まつりや紫陽花まつりをはじめとした季節のイベント開催を通して、町内外からの集客を図っていきたくと考えております。



交流施設として賑わいを見せる「さくらの里」

### 伊達政宗騎馬像の活用について

農村環境改善センターに展示してある、伊達政宗騎馬像を町の観光スポットに移した方が良いのではないのでしょうか。

この伊達政宗騎馬像は、昭和62年の大河ドラマ「独眼竜政宗」放映に合わせ、仙台市などが仙台城跡の騎馬像を横置したレプリカを、仙台駅に設置したものです。それを大河ドラマ終了後の昭和63年に町



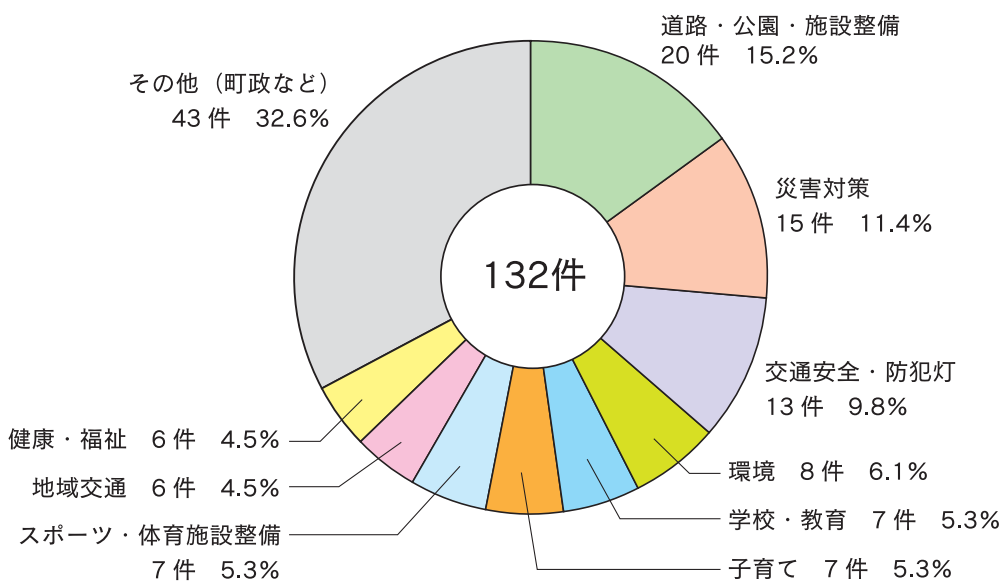
小室達の代表作「伊達政宗騎馬像」

が譲り受け、騎馬像の制作者「小室達」の生まれ故郷である入間田の農村環境改善センターに設置しました。  
この騎馬像は、高さ3.1m重さ500kg、材質は薄い簡易強化プラスチック製で、損傷しやすく、移動しての設置は構造上、大変難しいと考えております。  
騎馬像の活用については、「四季の里山ハイキング」のコースに農村環境改善センターを含め、参加者へ郷土を代表する彫刻家「小室達」について紹介するなど、今後も機会を捉えて積極的にPRを行いつつ、現在の場所でも多くの方に認知されるよう取り組んでまいります。

### お願い

大変貴重なご意見などを匿名でお寄せいただくことがあります。匿名でいただいても、回答することができますので、「氏名」「住所」を明記してお寄せください。

### 令和元年度にいただいたメッセージの内訳



告 告

告 告

新型コロナウイルスの影響で、4月の桜まつりは中止とし、観光物産交流館さくらの里も臨時休業の措置を取りました。それでも、残雪を抱いた蔵王連峰と、鮮やかなピンク色に染まった一目千本桜の絶景を静寂の中で堪能する方もいました。

この絶景を彩る「東北本線 大河原駅〜船岡駅間」は、3月26日、日本経済新聞の「NIKKEIプラス1」創刊20周年特別企画「桜を楽しめる鉄道路線」において、全国の鉄道路線の中でも、桜の規模感が他を圧倒しているということで第一位となり、紹介されました。このことが、お花見の自粛をお願いしたにもかかわらず、観光客や鉄道ファンが減らなかつた要因だったように思えます。

こうした動きは、これまで「花のまち 柴田」を核としたプロモーション活動に力を入れ、柴田町の好感度が上がったからにはかなりません。また、副次的な効果として、柴田町を応援する「ふるさと納税」が、昨年度は6億9千万円余りとなるなどが好循環も生んでいます。

桜の開花は、国民的な関心事で、私たちも毎年、仙台管区気象台の開花情報に一喜一憂しています。今年のソメイヨシノは、

## 静寂の中での桜模様

観測史上最も早い3月28日に開花し、その後、次々と花便りが報道されました。

白石川堤や船岡城址公園もソメイヨシノが咲いている間は、多くの観光客が花見に訪れます。しかし、桜前線が仙台、涌谷そして岩手県へと北上するにつれて、白石川堤の一目千本桜は、「散り始め」、「花吹雪」と報道されるため、たとえ遅咲きの山桜や

里桜が見事に咲いていても、花見に訪れるのは旅行日程が決まっている外国人だけで、日本人の姿はほとんど見られなくなってしまう。

こうしたミスマッチを防ぎ、4月いっぱいには柴田町の花見が楽しめるよう、今回、早咲きの小彼岸桜やおかめ桜、遅咲きの大山桜や里桜を植栽しました。さらに、ハナモモやレンギョウ、ユキヤナギ、スイセンなどを植え、他の桜の名所とは違った、春の装いを演じ出すことにも努めました。

柴田町の桜は、100年前に先人たちが町の誇りとなるように植えたものです。今を生きている私たちの責務は、この桜を愛でながら、桜並木の絶景にさらに磨きをかけ、次の世代に引き継いでいくことではないかと思っています。

新型コロナウイルスが早く終息し、来年こそは多くの人に、この桜並木の絶景を楽しんでもらいたいと思っています。

## しばた歴史探訪

### 第6回 船迫の古代

船迫は、柴田の古代史を考える上で重要な意味を持つ地域です。まず、「太陽の村」のある上野山の南西側には、柴田町と村田町にまたがり、古墳群が広がっています。その数なんと300基余り。これらは、直径5〜7メートルほどの小さい円墳で、おおよそ7世紀後半から8世紀の初めに造られたものと考えられています。なぜ、たくさんの古墳がこの短い時期に一気に造られたのかはよく分かっていませんが、中央政府が東北地方に勢力を伸ばしてきたことと大いに関係がありそうです。

この古墳群の東側に延びた丘陵に森合横穴墓群(西船迫一丁目)があります。100基ほどの、凝灰岩の崖面を掘り込んで造った横穴墓が蜂の巣状に密集しています。これらは、岩を掘り込むことで、古墳と同じ横穴の石室を造り出したものです。さらに東側、柴田高校とゴルフ場の間の丘陵には、48基からなる十八津入横穴墓群(本船迫字十八津入)があります。

最後は兎田瓦窯跡(本船迫字兎田)です。ここでは、7世紀後半に瓦が生産されました。当時、屋根に瓦を載せた建物は、国の役所やお寺しかありませんでした。この地域の重要な建物に、瓦がここから供給されたのでしょうか。今でも、地面には木炭や焼け土、瓦の破片が見られます。

船迫の古代は、中央政府の力がこの地方に及んできたことを背景に、急速に大規模に動き出したように思われます。



森合横穴墓群



健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第67回のテーマは「改正健康増進法」です。

2018年7月に一部改正された健康増進法が、4月1日より全面施行されました。これにより、ほとんどの施設が敷地内禁煙または原則屋内禁煙になり、望まない受動喫煙を防止するための取り組みは、マナーからルールへと変わりました。

たばこを吸う人も吸わない人も、それぞれがお互いの立場を尊重し、気持ちよく過ごせる環境をつくっていきましょう。

### ○改正健康増進法で規定された施設ごとのルール

施設の種類の		喫煙のルール	施行時期
①第一種施設	学校、病院、児童福祉施設、行政機関の庁舎など	<b>原則敷地内禁煙</b> 屋外で必要な措置が取られた喫煙所は設置可	2019年 7月1日
②第二種施設	①、③以外の施設 (事務所・工場、ホテル・旅館、飲食店、旅客運送事業船舶・鉄道、国会・裁判所など)	<b>原則屋内禁煙</b> ・必要な措置が取られた、喫煙専用室（飲食不可）は設置可 ・経過措置として、必要な措置が取られた、加熱式たばこ専用喫煙室（飲食可）は設置可	2020年 4月1日
	既存の規模の小さな飲食店 (客席面積100㎡以下など)	喫煙可能な場所であることを保健所に申請し、標識を掲示することで喫煙可	
③喫煙目的施設	・喫煙を主目的とするバー・スナックなど ・店内で喫煙可能なたばこ販売店 ・公衆喫煙所	<b>喫煙可</b>	2020年 4月1日

#### ポイント1 標識

喫煙可能な設備がある施設の入口には必ず、指定の標識を掲示するよう義務付けられています。飲食店などで食事をする際には確認するようにしましょう。



※標識の一例

#### ポイント2 年齢制限

20歳未満の方については、たとえ従業員であっても喫煙エリアに立ち入ることができません。

#### ポイント3 罰則

喫煙禁止場所で喫煙をした場合、30万円以下の罰則が科せられるなど、厳しく規定されています。

※詳細については、厚生労働省の特設サイト「なくそう！望まない受動喫煙。」(<https://jyudokitsuen.mhlw.go.jp/>)をご覧ください。

広 告

広 告

# まちかど NEWS



保護者に見守られ、4人の新1年生が新たな一歩を踏み出しました。  
(柴田小学校)



少し緊張した様子で先生の話聞いていました。  
(船迫小学校)

## ご入学おめでとうございます NEWS

4月9日(木)、町内の6小学校で、新型コロナウイルス感染症防止のため規模を縮小し、入学式が行われました。

マスク姿の新1年生は、式典で担任の先生に名前を呼ばれると、元気な声で「はい」と返事をしていました。

八木妃美梨さん(船迫小)は、「勉強を頑張りたいです」と話し、父洋史さんと母智美さんは、「新型コロナウイルスが心配ですが、たくさんの友達と元気に楽しく学校生活を送ってほしい」と話していました。

## 寄贈ありがとうございました NEWS

4月7日(火)、有限会社富樫運輸より、小中学校へ冷風機の寄贈がありました。

富樫龍也取締役社長は、「当社は町民の皆さまに支えられ、今年で46年を迎えることができました。そこで、町へお礼をさせていただきたいと考えていたところ、学校の熱中症対策にお困りと伺い、寄贈をさせていただきました」と述べられました。

冷風機は、早速、各小中学校の体育館などで使用されることとなります。



目録を手渡す富樫取締役社長(中央左)

広 告

広 告

## 殿内ときさんの100歳をお祝い



若い頃は趣味の編み物で洋服などを作っていたそうです。

船岡字新生町の殿内ときさんが、3月29日(日)に100歳を迎えられ、ご家族と一緒に長寿をお祝いしました。生まれも育ちも柴田町の殿内さんは、昭和17年に結婚し専業主婦として子育てに励み、5人の孫と6人のひ孫にも恵まれました。

とてもお話好きで、デイサービスではお友達やヘルパーの方とお話をして過ごすことが楽しみだそうです。いつまでもお元気でいてください。

## 優良婦人消防隊員表彰を受賞



同賞の受賞は、町内では初となります。

3月3日(火)、柴田町婦人防火クラブ連合会の青木孝子会長が、日本消防協会優良婦人消防隊員表彰を受賞し、31日(火)に町長へ報告に訪れました。

この表彰は、全国の婦人防火クラブなどの中で長きにわたって活躍された方に贈られるもので、青木会長はクラブ結成以来、火災予防の普及活動など、町の防火に大きく貢献されてきました。

青木会長は、「賞を頂けたのは会員の皆様のおかげと、心から感謝しています」と話されました。



今年度は、交通指導隊22人、防犯実動隊17人で活動します。

## 安心安全を守る交通指導隊、防犯実動隊

4月2日(木)、交通指導隊と防犯実動隊が一堂に会する全体会が行われました。

全体会では、滝口町長からの訓示、澤田柴田交番所長からは、大河原管内および町内で発生している特殊詐欺や交通事故の特徴などについて講話をいただきました。

今年度の活動の中で、交通指導隊は、毎朝の児童の登校時の街頭指導を、防犯実動隊は、薄暮時の防犯パトロールを重点とすることを確認し、町の事故防止と犯罪防止に努める気持ちを新たにしました。

広 告

広 告



# 新行政区長を 紹介します

4月1日付けで、第11A区行政区長、第27区行政区長に辞令が交付されました。  
(任期 令和4年3月31日まで)



第27区行政区長  
三浦 悦郎  
みづら えつろう



第11A区行政区長  
玉槻 正由  
たまつき まさよし

## こうほう 文芸

### 短歌

人類の果てなき欲に警鐘か  
未知のウイルス人類おそふ  
船岡 可沼 妙子

湯煙に湯の花漂う露天風呂  
自然の景観浴する眺め  
梶木 平間 三郎

目に見えぬコロナウイルス飛び回り  
人間サマはおびえの暮し  
西船迫 下浦 智子

世界中コロナウイルス暴れ狂う  
庭に悠然雪椿咲く  
西船迫 三澤 精一

花吹雪桜並木のキャンバスに  
緑の電車ゆつくり進む  
四日市場 鳥井崎七老

### 川柳

治療薬世界の人が待っている  
西船迫 安ヶ平良三

今の世はウイルス戦争まった中  
孫からの電話うれしく長話  
船岡 小林 夢子  
阿部美代子

### 俳句

春光を育んでゐる金盞  
石母田星人

山の畑夕焼鋤き込む音ひとつ  
鎌形 清司

初夏の口開けてゐる観覧車  
齋藤 善則

花筏揺らす魚影の濃かりけり  
鈴木 三山

みささぎに遠き海鳴り夏の蝶  
鈴木 清子

山藤の昇り切つたる先に海  
鈴木 幸子

晩年は秒の蓄積万愚節  
相馬カツオ

追ふ夢のありて余生の夏の空  
時 三枝子

瓦屋根雀いこふマイホーム  
吉田 啓子

咲く桜花下に宴の人のなし  
船岡 可沼 妙子

ぬくもりを背に受けて摘むフキノトウ  
四日市場 鳥井崎七老

五月雲形変えつつ世界旅  
船岡 安藤 節子

こんな世もいつもの様に桜咲く  
西船迫 安ヶ平奈津枝

足弱の婆に寄り添ひ花疲れ  
西船迫 佐藤 厚子

散歩をもう一つの日課とす  
体力増強心豊に  
西船迫 安ヶ平良三

新年度働き始め二年目の  
女孫顔見せる希望に満ちて  
船岡 伊藤タイ子

喜寿迎えよくぞこゝまで来れた事  
父母の遺影に香を手向ける  
船岡 大庭 とみ

「婆見て」と手洗い見せる孫の顔  
爺もマネする感染予防  
本船迫 森田 真六

花愛でる人はちらほら館山の  
今年の桜ひそやかに咲き  
船岡 沢田 順子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで5月13日(水)まで応募ください。 圃 まちづくり政策課 ☎54-2111

# 広 告

# 広 告



# 船迫中学校

## 地域貢献し隊

船迫中学校は、スクールガードリーダーや見守り隊の方々など、地域の皆さまに常に見守られ、また、学校支援ボランティア（しばたっ子応援団）の方々などと連携し、授業や諸活動に積極的な支援をしてもらうことで、地域とつながり、深い学びが実現できています。お世話になった地域の皆さまへは、毎年、卒業式の直前に開催される3年生による感謝する会で、合唱を披露し、感謝の意を表しています。その他にも、日ごろの地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、次のような取り組みを行っています。

### 1 「世界に一つだけの竹ぼうき」による地区清掃

本校では、「しばたっ子応援団」である上川名地区の皆さまのご協力をいただきながら、冬に1年生は、上川名地区の竹林で「竹の伐採」を行い、秋に2年生は、伐採した竹を使い「竹ぼうきを作る」活動を行います。そして、毎年、落ち葉がたくさん散る頃に、地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、生徒一人一人が、「世界に一つしかない」自分の竹ぼうきを使って学校近隣の歩道や公園の落ち葉掃きをしています。



作った竹ぼうきで行った地区清掃

### 2 「太陽の村」などにラベンダーを植栽、自作のスティック、ポプリを地域へ

本校には、東日本大震災後の7年間、校地内に植栽し、愛情を込めて育てているラベンダーがあります。最盛期のラベンダーの姿は壮観で、本校の「シンボル」です。そして、このラベンダーは太陽の村にも植栽させてもらいました。昨年は、1、2年生が「しばたっ子応援団」のトヨタカローラ宮城の方々と一緒に刈り取りを行い、その刈り取ったラベンダーを利用して全校生徒でスティックを、1年生はポプリを作りました。生徒が手作りしたスティックとポプリは農業体験や職場訪問でお世話になった方々、船迫生涯学習センターの利用者やキャリアセミナーの講師の方々などへ配り、地域の皆さまに喜んでいただきました。



校内で育てたラベンダーの刈り取り

### 3 3年生による小学生への合唱披露

本校の3年生は船迫小学校で、小学2年生から6年生の児童を前に合唱コンクールの課題曲と自由曲を披露しています。昨年は、合唱コンクールの1か月前に聖ウルスラ学院英智高校合唱部の皆さんから合唱の指導をもらった効果が大きく、合唱コンクールでは審査員の先生が感動で涙するほどの出来栄でした。その数日後に「高い水準の合唱を地域の小学生に届けたい」、「船迫中学校の生徒に憧れてほしい」との思いで、小学校で合唱披露を行いました。そして、お礼に6年生の器楽演奏を聴かせてもらい、小学生も中学生も心温まる瞬間を味わうことができました。



小学生を前に披露した合唱

〔船迫中学校長 曾根秀輝〕

広 告

広 告

## 生産量と品質を両立させる 技術を磨いていきたい

東海高熱工業株式会社 仙台工場  
村上 尚樹さん（28歳）

今回は、工業用の発熱体や抵抗体の製造、セラミック製品の製造を行う東海高熱工業株式会社仙台工場の村上尚樹さんを紹介いたします。



入社10年目の村上さんは、高校の授業で学んだシリコンについて興味を持ち、シリコンを用いた製品の製造を行う東海高熱工業への入社を決めました。ご自身が製造している製品について、「シリコン」というと樹脂のような素材を想像する方もいるかもしれませんが、それはシリコンと呼ばれる別物になります。シリコンはケイ素を還元した金属です。私が所属している製造第一課では、シリコンと炭素との化合物で発熱体という製品を製造しています。発熱体は、お客様の工場で素材を熱して溶かす炉の熱源になります。例えばガラスの製造のために原料を溶かす炉に使用されたりします」と説明してくれました。

入社10年目の村上さんは、高校の授業で学んだシリコンについて興味を持ち、シリコンを用いた製品の製造を行う東海高熱工業への入社を決めました。ご自身が製造している製品について、「シリコン」というと樹脂のような素材を想像する方もいるかもしれませんが、それはシリコンと呼ばれる別物になります。シリコンはケイ素を還元した金属です。私が所属している製造第一課では、シリコンと炭素との化合物で発熱体という製品を製造しています。発熱体は、お客様の工場で素材を熱して溶かす炉の熱源になります。例えばガラスの製造のために原料を溶かす炉に使用されたりします」と説明してくれました。

担当する工程については、「発熱体の溶接を担当しています。溶接炉と呼ばれる炉を操作し部品同士を接合させる工程です。セラミックの製造は、同じように作っても全く同じ物ではありません。最後に仕事への思いについて、「製造は結果が数字で表れるため、より多く製品を製造し、なおかつ不良品を減らすこと。そこに目標を立てて達成させることが自分のモチベーションです。自分を採用して良かったと会社から思われる社員になりたいですね」と話してくれました。その製品に負けない熱い気持ちでこれからも頑張ってください。

苦勞されている事を伺うと、「手作業の工程が多いため、設計図では表せない、感覚に頼る部分が出てきます。入社した当時は、その感覚を理解するのに苦勞しました。今は指導する立場になり、後輩にその感覚をどう伝えたいのか悩んでいます。半年でそこを理解してもらい、仕事を任せられる人材に育てたいと思っています」。



溶接炉に入れる素材の積み上げを行う村上さん



東海高熱工業株式会社  
仙台工場  
柴田町大字中名生字佐野34-1  
TEL54-2427

昭和11年創業。昭和39年に仙台工場を設立。工業用の発熱体や抵抗器、セラミック製品の生産を手掛ける。  
従業員124人

人口と世帯数  
(令和2年4月1日現在)



37,461人  
(前月比20人減)



18,658人  
(前月比21人減)



18,803人  
(前月比1人増)



15,836世帯  
(前月比43世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。